

個人投資家の皆様へ 会社説明会

2016年2月12日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

目次

- 【第1部】 当社グループの概要
- 【第2部】 事業の概要・特徴
- 【第3部】 当社グループの強み
- 【第4部】 当社グループの成長戦略
- 【第5部】 業績見通し、配当・優待など
- 【第6部】 資料編

【第1部】 当社グループの概要



2

1. 社名の由来



- 沖縄県に属する「沖大東島」の通称「ラサ島」に由来
- このラサ島でリン鉱石を採掘したのが、ラサ工業(株)

当社設立(1939年)~

【設立当初】

- ラサ工業(株) (東証1部、証券コード4022) の営業部門を分離独立して設立

【現在】

- 現在は**独立系商社**として発展
- ラサ工業(株)とは、**建設機械等**において良好な取引関係を継続
(シールド掘進機等)



1999年 国土地理院撮影

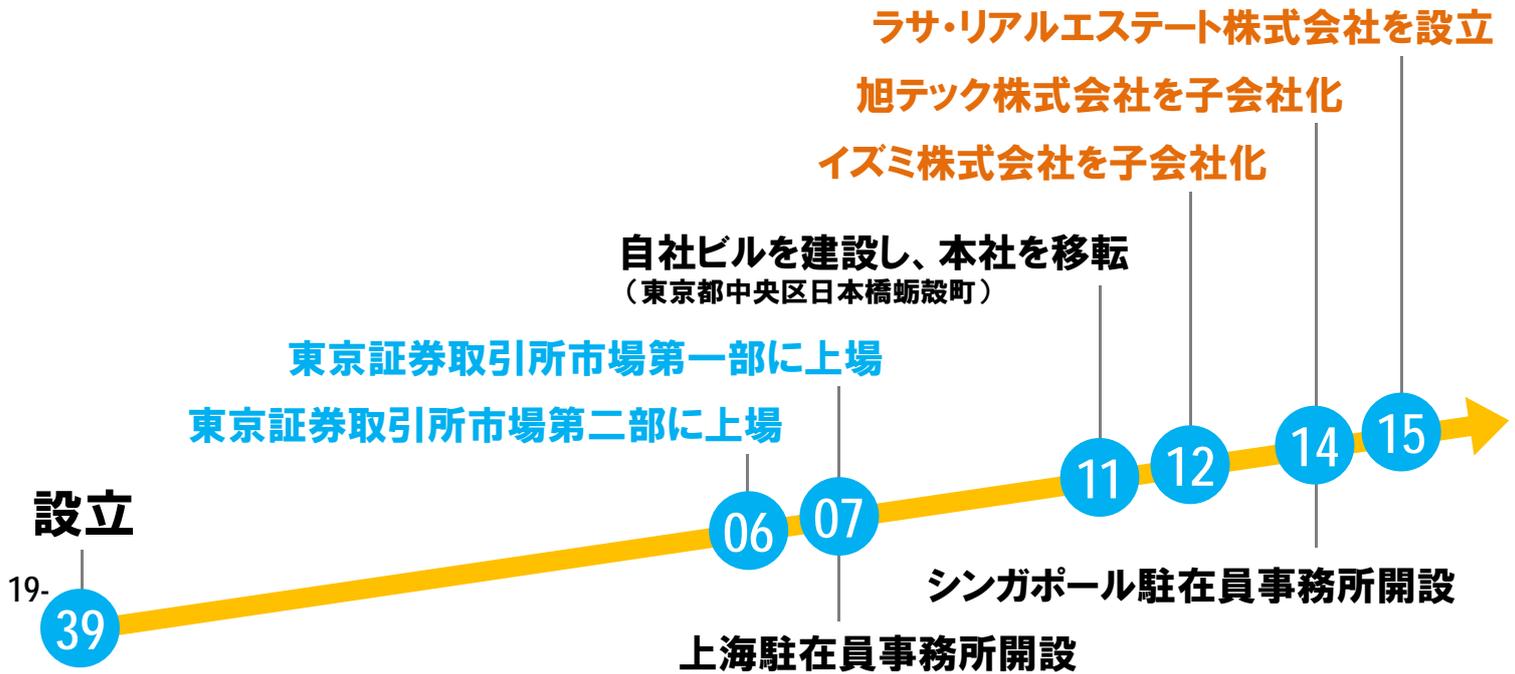


(“ラサ”はラテン語系で「平ら」を意味する)

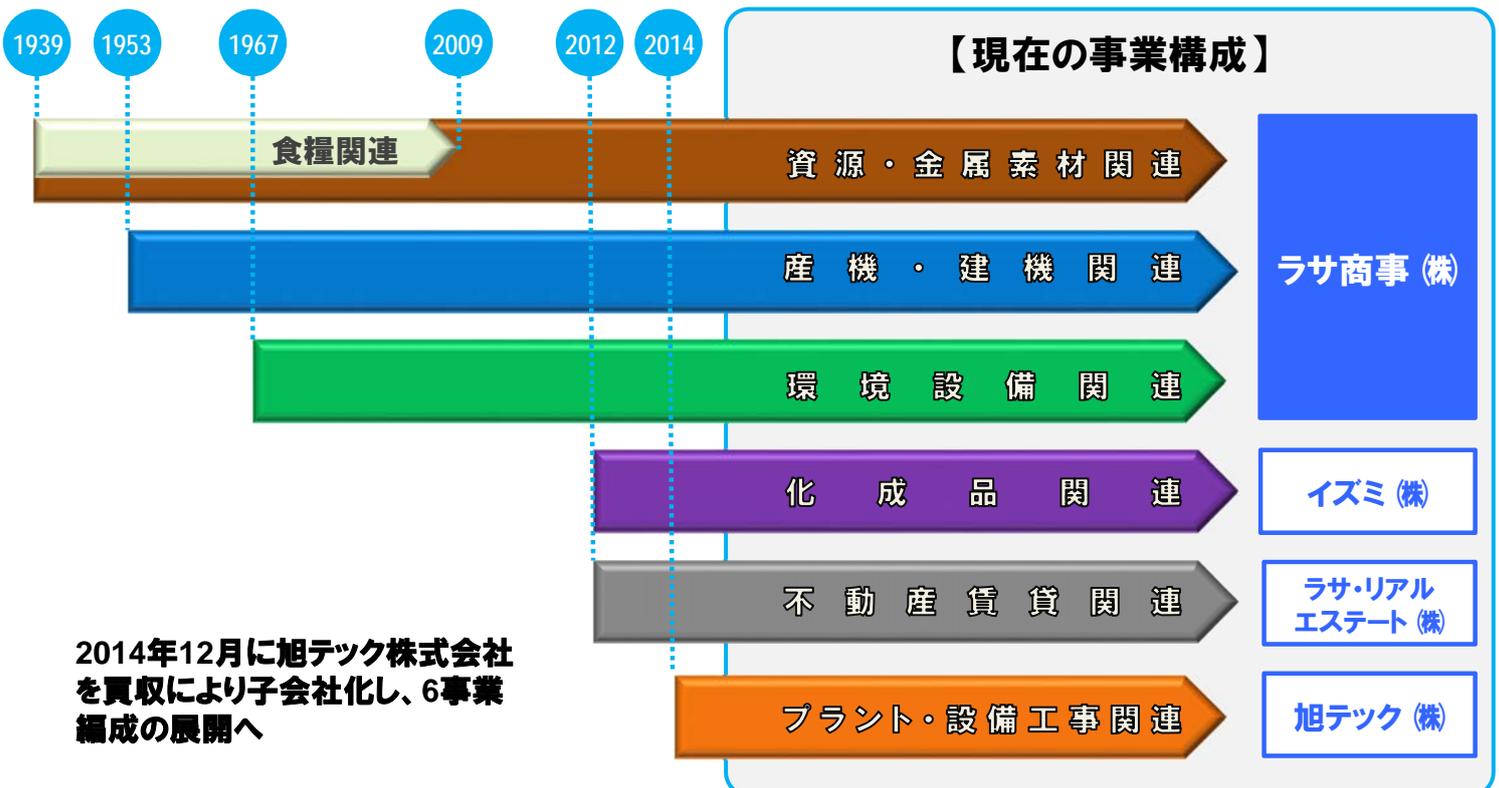
3

2. 直近10年間の動向

2016年は当社創業77周年



3. 事業の変遷（事業拡大の推移）



4. 近年の業績推移

■ 売上高 — 経常利益



*2013/3期以降は連結、それ以前は単体

6

【第2部】 事業の概要・特徴

 ラサ商事株式会社

7

1. 資源・金属素材関連事業の特徴

① ジルコンサンド 国内No.1サプライヤー



▲鉱山(オーストラリア)



▲結晶
(拡大写真)

- ジルコンサンドの産地は世界的に限定的
→生産量世界第1位のアイルカ社(オーストラリア)との間で、国内における総販売代理店契約
- 国内販売シェア50%超



1. 資源・金属素材関連事業の特徴

② 年間売上10億円規模の新商材が順調に育成

10億円新商材育成プロジェクトを展開

金属シリコン

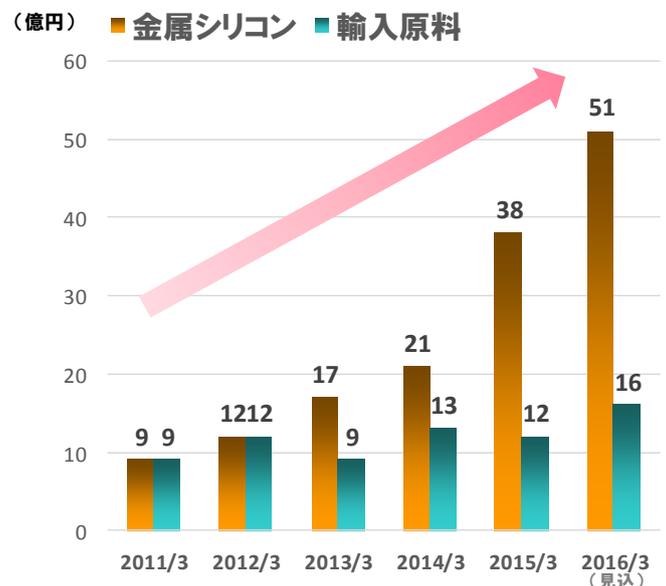
- アルミニウム合金メーカー向け(自動車用等)

輸入原料

- アルミナ系原料
- 黒鉛など

- 特徴:多品種小ロット
- リチウムイオン電池向け
...球状黒鉛
- 高級耐火材原料向け
...仮焼アルミナ など

■新商材の売上高の推移



2. 産機・建機関連事業の特徴

① 国内シェアNo.1を争う「スラリーポンプ」分野を構築

*スラリーポンプ: 固形物が混ざった液体を送ることができる高耐性の特殊ポンプ



ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、
耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス
材質の交換により様々な液体に対応

主な納入実績

S製鉄	約1,000台
S金属鉱山	約1,000台
J製鉄	約500台
T社(電機)	約500台



ヒドロスタル
ポンプ



ヒドロスタル
水中ポンプ
(BCP対応)



フェルバダイヤ
フラムポンプ
ピストンポンプ



緊急可搬式
エンジンポンプ
BETSY
(BCP対応)



フツマイスターピストンポンプ



URACA高圧プランジャーポンプ

10

2. 産機・建機関連事業の特徴

② 全国をカバーする技術サポート体制を構築

ラサ商事

本社・支店・営業所: 10拠点

機械センター: 5拠点



全国の
施工・メンテ専門の
協力会社

長年にわたる強固な信頼関係に基づく協力体制のもと
全国のお客様に対して確かな技術サポートを提供
(=当社の技術ソリューション提供力の基盤)

11

3. 環境設備関連事業の特徴

① 「水砕スラグ製造設備」のパイオニア

1967年に世界で初めて水砕スラグ製造設備のクローズド・システムを開発



3. 環境設備関連事業の特徴

② 業界随一の豊富な経験と実績

● 「ラサ・システム」を導入している製鉄所

海外

独シーメンスと三菱重工の合併会社
英国のプリメタルズテクノロジー社と
ライセンス契約

日本



4. プラント・設備工事関連事業の特徴

京葉臨海コンビナートの大手顧客企業が展開するプラントを主力マーケットとする技術系企業

設立	1988(昭和63)年8月
資本金	1億円
従業員数	約50名
売上高	32億5百万円(2014年7月期)
事業所	【本社・工場】千葉県市原市岩崎西1丁目 【東京支店】東京都中央区日本橋蛸殻町 【袖ヶ浦工場】千葉県袖ヶ浦市長浦



本社



袖ヶ浦工場 (敷地面積20,000平米)

事業内容

【工事】

- 各種プラント建設工事の設計・施工、メンテナンス工事
⇒ 石油精製・化学・食品・薬品・半導体など
- 空調など配管工事の設計・施工、メンテナンス工事 など

【工場加工】

- プラント・設備など各種配管のプレハブ加工
- 各種鋼材品・製品品の工場加工 など

4. プラント・設備工事関連事業の特徴

設計から工事まで一貫対応

プラント配管工事における
傑出したノウハウ・技術力

多様な関連分野における多数の有資格者

ISO9001(品質マネジメントシステム)
認証取得

COHSMS(新しい安全衛生管理方法)
認定

大手中心の
顧客基盤
(安定受注)

京葉臨海コンビナート
約50社と取引

元請比率
50%前後

大手ポンプメーカー
の認定工場

5. 化成品関連事業の特徴

合成樹脂・化成品の専門商社

【主な取扱品目】

- **プラスチック**
(合成樹脂、樹脂添加剤)
- **シート・フィルム・テープ**
(各種樹脂フィルム、金属箔、ほか)
- **各種加工製品**
(押出製品、射出製品、ほか)
- **油脂・ケミカル**
(ケミカル、その他化学品)



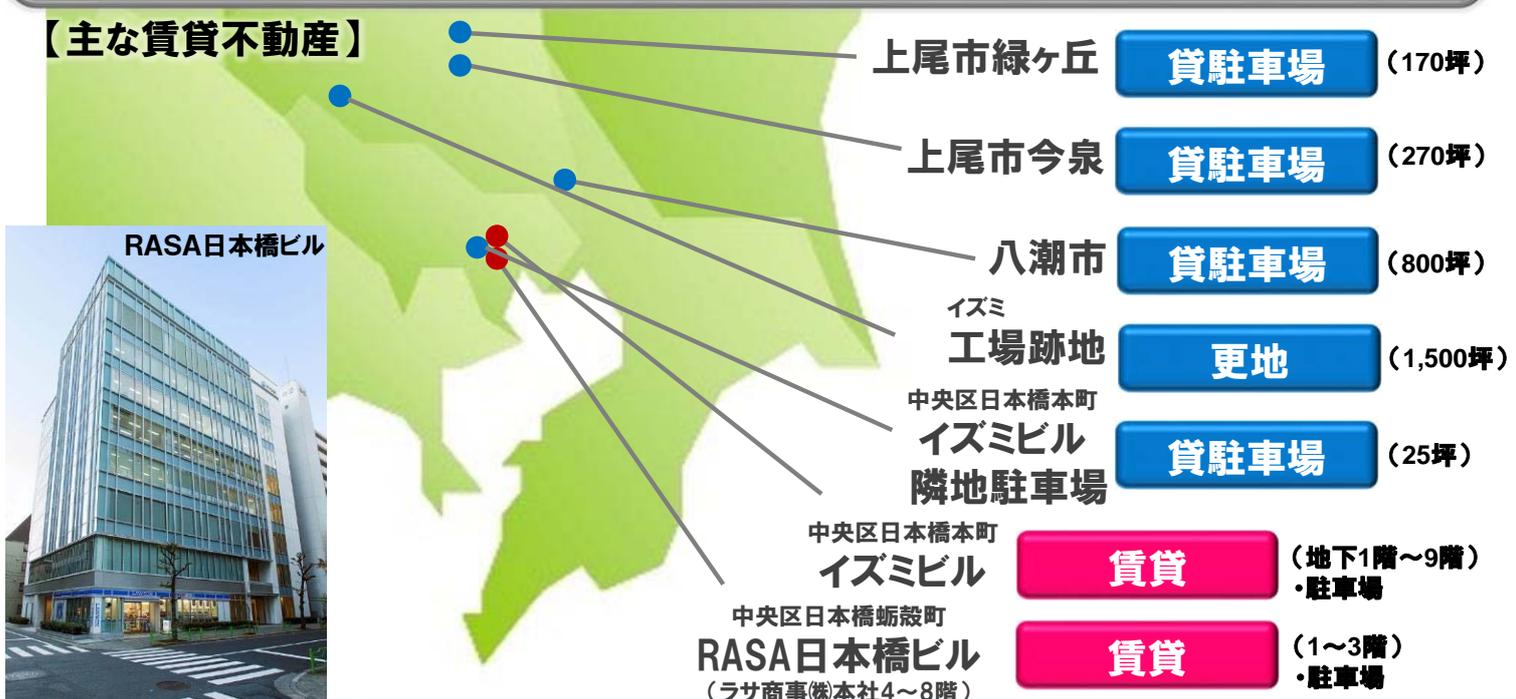
自動車分野
建材分野
電気・電子分野
など

6. 不動産賃貸関連事業の特徴

不動産賃貸事業の有効かつ効率的な展開を図り、収益に貢献

2015年2月2日、ラサ・リアルエステート(株)を設立し、事業運営体制を強化

【主な賃貸不動産】



【第3部】 当社グループの強み



18

1. ラサ商事株式会社の強み

- ① ニッチ市場における“トップシェア”を構築
- ② 「商社の枠組み」を超えた技術・ノウハウ
- ③ 設計・施工からメンテナンスまで
一貫した対応が可能な技術力
- ④ 健全な財務体質

19

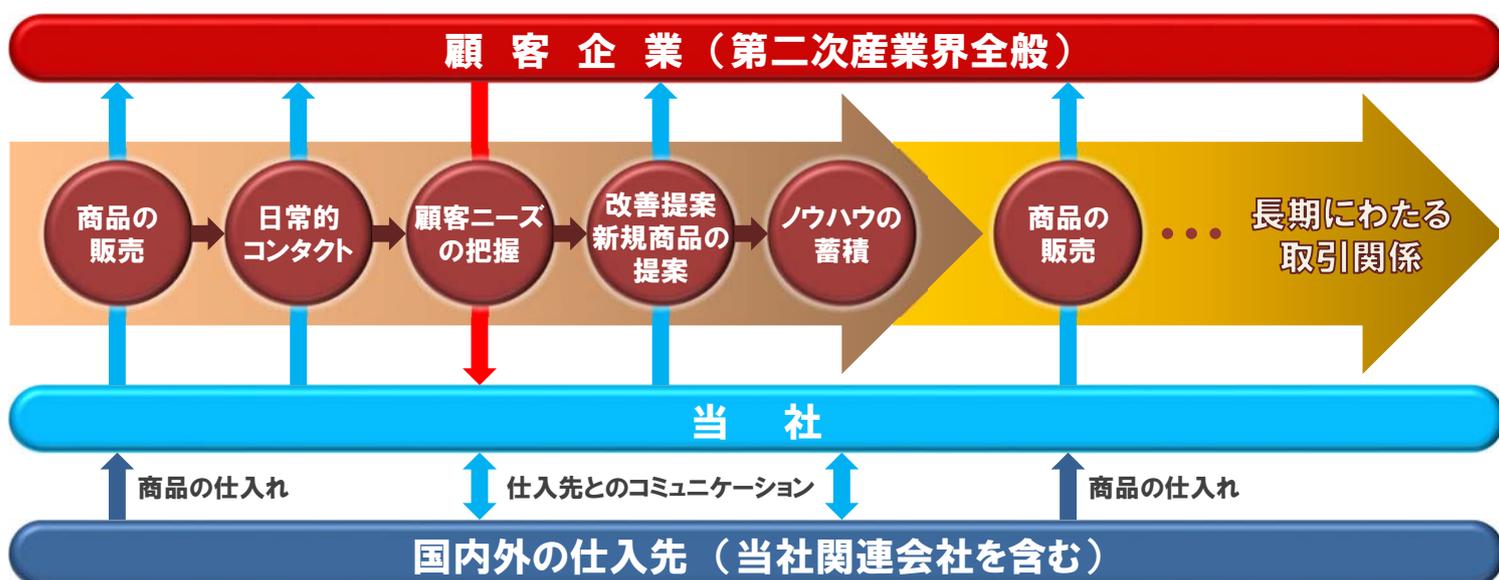
2. 強み① ニッチ市場におけるトップシェアを構築



20

2. 強み② 「商社の枠組み」を超えた技術・ノウハウ

提案型営業力



21

2. 強み③ 一貫した対応が可能な技術力

技術商社

～設計・施工からメンテナンスまで一貫対応～

“非”汎用品を中心とした商品展開

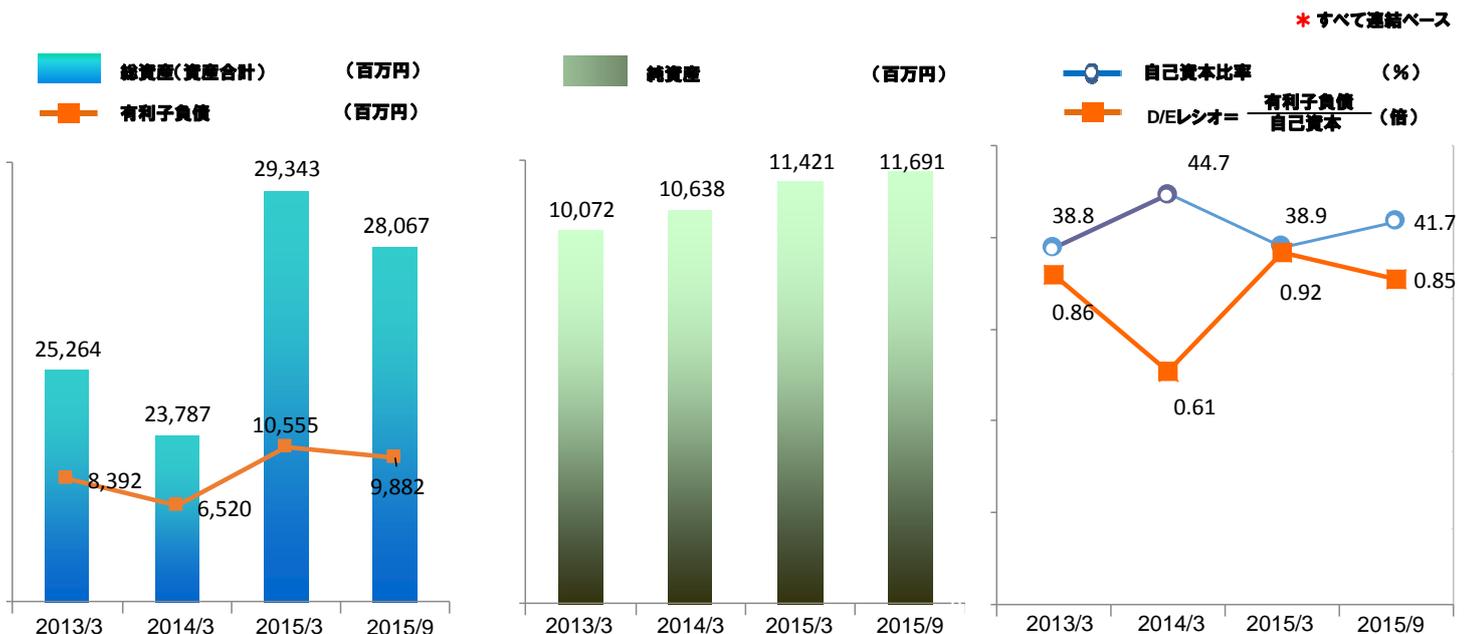
導入時の設置、運用時の保守・メンテ・修理など
適時的確なサポートが不可欠

人材 + ノウハウ + ネットワーク を独自に構築

旭テック(株)が加わったことで、この強みが更に強化

22

2. 強み④ 健全な財務体質



将来の成長に向けた設備投資やM&Aなどを
適時的確に実施していくことができる盤石の財務基盤

23

【第4部】当社グループの成長戦略



1. 当社グループの経営ステージ



2. 成長戦略 基本方針

飛躍への第一歩

連結グループ経営が本格始動した2013年3月期を「飛躍への第一歩の年」と位置づけ、単体での歩みからラサ商事グループとしての新たな成長を目指す



26

3. 成長戦略 事業別の取組状況

中期経営計画における
戦略テーマ

- 既存事業の深堀りと事業進化
- 成長分野への注力と新市場の創出
- 海外ビジネスの拡大

	資源・金属素材関連	産機・建機関連	環境設備関連
既存事業の深堀りと 事業進化	<ul style="list-style-type: none"> ● ジルコンサンド製品の多様化 ● 輸入原料の高付加価値化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 更新需要の喚起とメンテナンスサービス体制の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存ラサ・システム導入先に対する提案・販売の積極化 (自動運転、省エネ運転、ランニングコスト低減商品など)
成長分野への注力と 新市場の創出	<p>【主な注力分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アルミ二次合金メーカー様向け 金属シリコンの拡販 →2015年度売上高予想 50億円を窺う ● エネルギー用途原料 ● 中国、東南アジア諸国、 インド等の海外マーケット 	<p>【主な注力分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石炭火力発電関連分野 ● 機能性材製造業向け ● バイオマス、バイオガス分野 ● 下水道BCP(津波、高潮、豪雨) 対応の汚泥ポンプの開発 『BETSY』の導入販売 	<p>【主な注力分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石炭ガス複合発電(IGCC・ IGFC)スラグ処理設備への ラサ・システムの導入 ● 勿来、広野火力発電所の 基本設計業務受注活動 ● 非鉄製錬ユーザー
海外ビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値化した製品の ASEAN地域を中心とした拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ● シールド掘削機など需要拡大が 見込まれる製品をASEAN地域 を中心に拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外のアライアンス先と連携 しグローバル・プロジェクトの獲 得に注力

27

4. 中期経営計画 指標と目標

経営指標

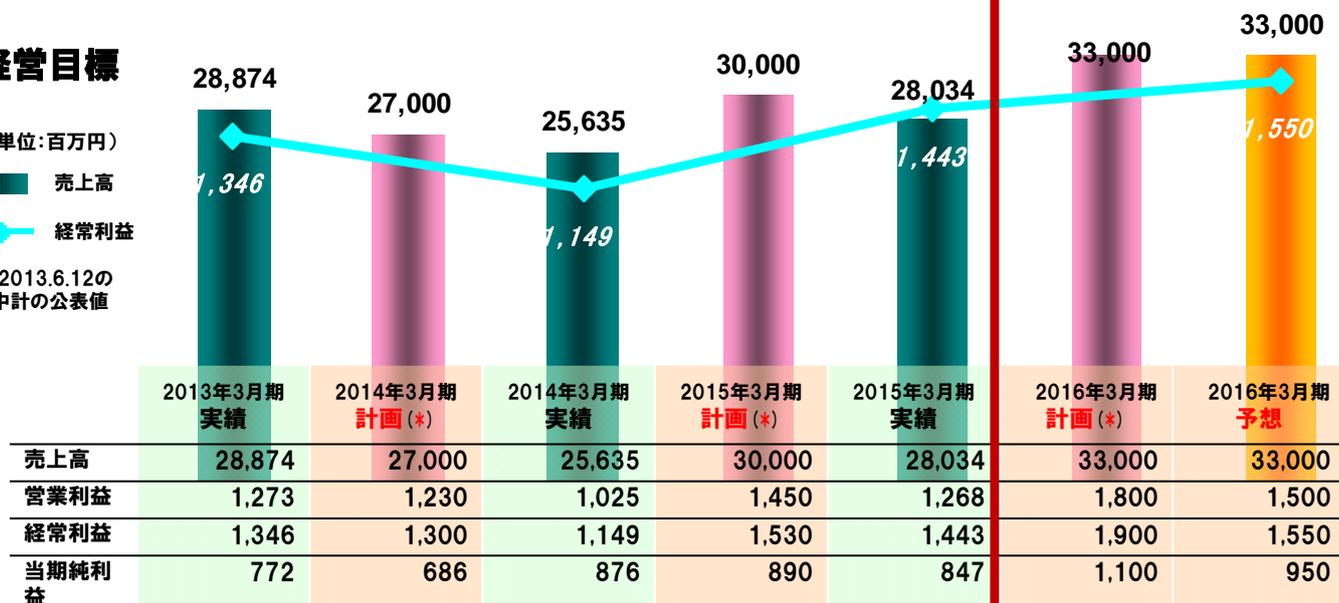
- ①総資産経常利益率 (ROA) は10%以上
- ②自己資本比率は50%以上
- ③自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上

● 経営目標

(単位:百万円)

■ 売上高
◆ 経常利益

(*) 2013.6.12の
中計の公表値



28

【第5部】業績見通し、配当、優待など

29

1. 2016年3月期の業績見通し（連結）

中国経済の減速懸念、原油価格・資源価格の低下など不透明な状況が継続するものと思われませんが、増収増益を見込んでおります

（単位：百万円・％）

【連結】	2015年 3月期 実績	2014年 12月 第3Q実績	2015年 12月 第3Q実績	増減	増減率	2016年 3月期 予想	増減	増減率
売上高	28,034	19,039	21,686	2,647	13.9	33,000	4,966	17.7
売上総利益	4,661	3,079	3,948	869	28.3	5,612	951	20.4
販売費及び 一般管理費	3,392	2,422	2,903	480	19.8	4,112	720	21.2
営業利益	1,268	656	1,045	389	59.3	1,500	232	18.3
経常利益	1,443	777	1,091	314	40.5	1,550	107	7.4
当期純利益	847	508	714	205	40.5	950	103	12.2
1株当り当期 純利益（円）	74.08	44.38	62.45	18.0	40.7	83.06	8.98	12.1

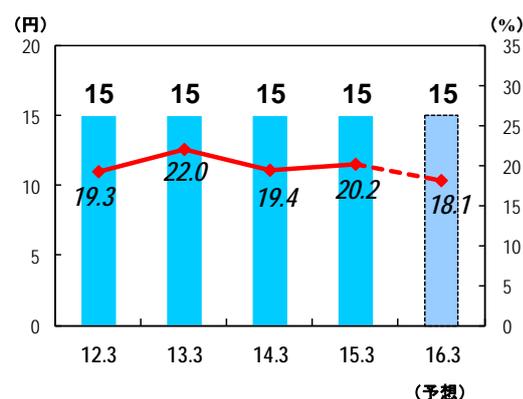
30

2. 配当

配当実績（1株当たり）

● 2015.3月期実績	15円
【中間】	7.5円
【期末】	7.5円
● 2016.3月期予想	15円
【中間】	7.5円
【期末】	7.5円

配当金・配当性向の推移



配当方針

安定配当



配当性向
20%前後
の維持

【2015.3月期実績】 20.2%
【2016.3月期予想】 18.1%

31

3. 株主優待

対象株主 毎年3月31日現在の100株以上保有の株主

内容 **優待制度に社会貢献が組み込まれています**

- 保有期間1年以上：
1,000円相当のオリジナルQUOカード
- 保有期間1年未満：
500円相当のオリジナルQUOカード
- 公益財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付
(株主様1人当たり 50円)
- 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)」への寄付
(株主様1人当たり 60円)



4. 株価の推移

株価 (2016年1月29日終値) 587円

予想配当利回り 2.56%
PBR (2015.9) 0.57倍

出来高(株/月)

株価(円)



● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。

【第6部】 資料編

1. 業績動向

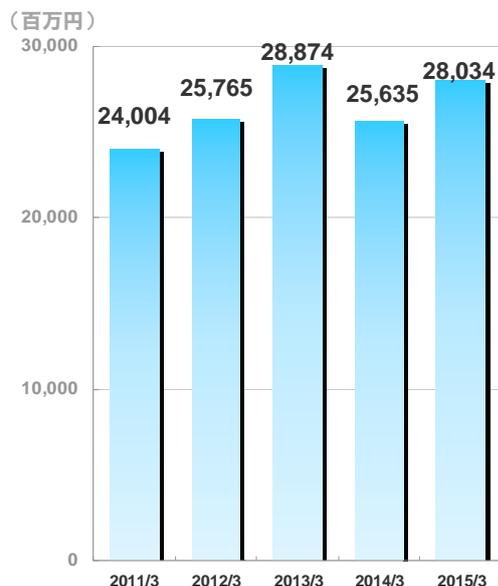
(単位:百万円・%)

	2014年3月期		2015年3月期		対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	25,635	100.0	28,034	100.0	2,399	9.4
資源・金属素材関連	8,603	33.5	10,217	36.4	1,614	18.8
産機・建機関連	7,829	30.5	7,570	27.0	▲259	▲3.3
環境設備関連	1,285	5.0	1,738	6.2	453	35.2
プラント・設備工事関連	-	-	1,083	3.9	-	-
化成品関連	7,755	30.2	7,248	25.9	▲507	▲6.5
不動産賃貸関連	161	0.6	176	0.6	15	9.7
売上総利益	4,107	16.0	4,661	16.6	554	13.5
販売費及び一般管理費	3,081	12.0	3,392	12.1	311	10.1
営業利益	1,025	4.0	1,268	4.5	243	23.7
営業外収支	123	0.5	175	0.6	52	42.3
経常利益	1,149	4.5	1,443	5.1	294	25.6
特別利益	245	1.0	127	0.5	▲117	▲48.0
特別損失	82	0.3	172	0.6	89	108.2
税引前当期利益	1,311	5.1	1,398	5.0	86	6.6
当期純利益	876	3.4	847	5.0	▲29	▲3.4
1株当り当期純利益(円)	77.23		74.08		▲3.15	▲4.1
1株当り配当金(円)	15		15		0	
配当性向(%)	19.4		20.2		0.8	

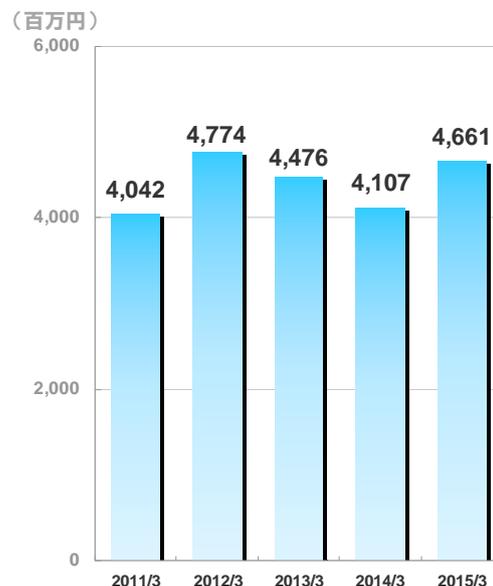
36

2. 収益の状況 1/2

売上高



売上総利益

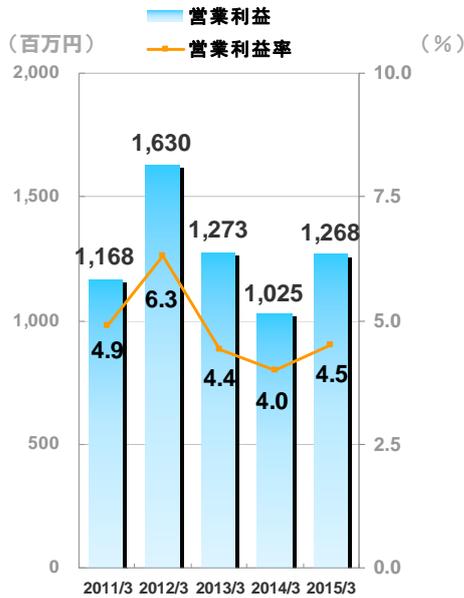


注) 2013/3期以降は連結、それ以前は単体

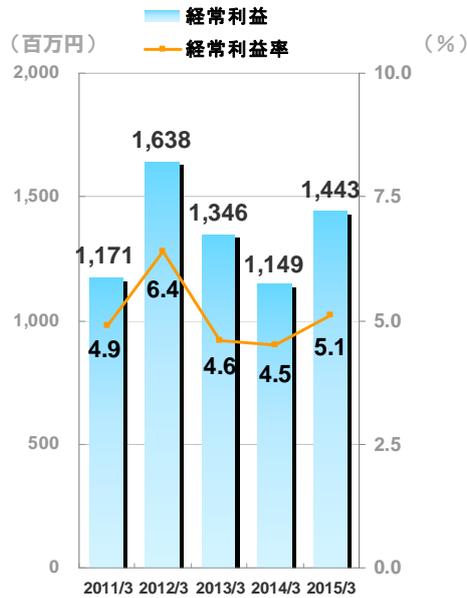
37

2. 収益の状況 2/2

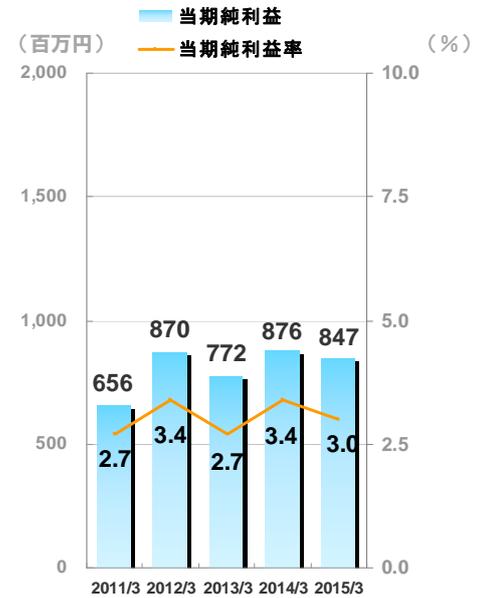
営業利益／営業利益率



経常利益／経常利益率



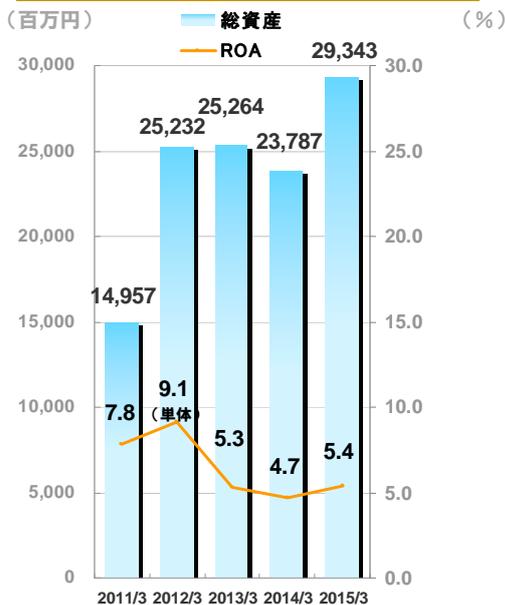
当期純利益／当期純利益率



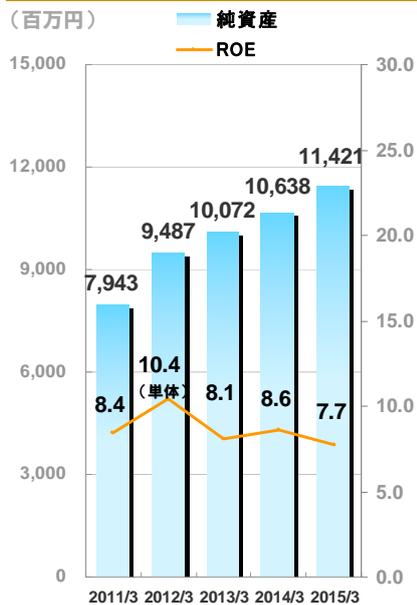
注) 2013/3期以降は連結、それ以前は単体

3. 財務の状況

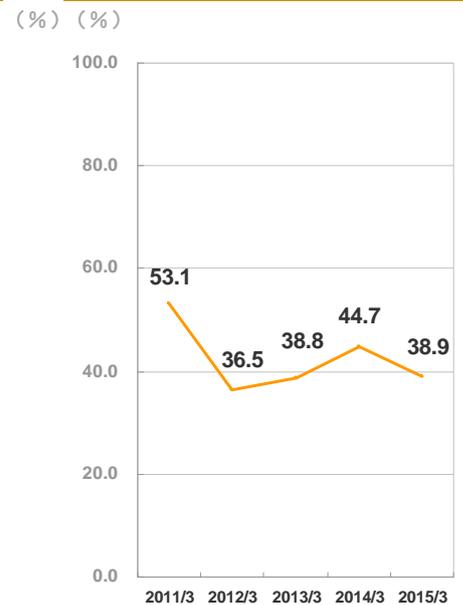
総資産／ROA



純資産／ROE



自己資本比率



注) 2012/3期以降は連結、それ以前は単体

4. 関連用語集 ①資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。 「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP(プラズマディスプレイパネル)の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。 自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で溶融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。 「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。 液晶やプラズマディスプレイガラスの溶融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

40

4. 関連用語集 ②産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。 磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。 また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

41

4. 関連用語集 ③環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「溶融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「Clean Coal Technology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。